

企画展 館収蔵品展

明石藩の世界I

— 文書と絵画 —

2013年9月21日(土)～10月20日(日)

月曜日休館(9月23日(月・祝)、10月14日(月・祝)は開館)

9:30～18:30(入館は18:00まで)

会場 明石市立文化博物館1階特別展示室

観覧料 大人 200円／大高生 150円／中学生以下無料

※20名以上の団体は2割引、高年手帳等(65歳以上)・障害者手帳提示にて半額

主催 明石市、明石市立文化博物館、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター
後援 兵庫県、兵庫県教育委員会、明石市教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、
一般財団法人兵庫県学校厚生会、神戸新聞社、NHK神戸放送局、サンテレビジョン、
ラジオ関西、明石ケーブルテレビ
協力 日本陶磁協会明石後援会

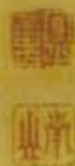
同時開催 郷土のやきもの

9月21日(土)～9月29日(日) 会場 2階ギャラリー

明石市立文化博物館

兵庫県明石市上ノ丸2丁目13-1 TEL.078-918-5400

初 東 壽 南 癸 卯 亥 月



明石藩の世界I - 文書と絵画 -



火事頭巾(黒田家資料)

平成24年6月、旧明石藩主の松平家ならびに旧明石藩重臣の黒田家にゆかりをもつ方から、それぞれの家に伝来した貴重な資料一式を明石市にご寄贈いただきました。内容は工芸品、美術品、古文書などその数はおよそ1700点にもおよびます。

同年9月には受贈を記念した速報展を当館で開催しましたが、今年度より3次にわたり、展示各コーナーにそれぞれテーマ性を持たせ、より内容を深めることを目的とした企画展「明石藩の世界」を開催いたします。

第1回目本年度は「文書と絵画」を総合テーマとして、「明石藩士黒田家の由緒」「武家文書としての黒田家文書」「藩主松平齊宜と黒田長棟」「幕末の明石藩」「藩主松平家の年譜」「黒田家所蔵の絵画」を各コーナーのテーマとした展示をおこないます。



黒田家由緒書 冒頭部分(黒田家文書)



明瓦(黒田家資料)



松平慶憲公年譜 表紙と本文(松平家文書)



青館公御鳥銃獲獲之御書記(黒田家資料)

同時開催 郷土のやきもの



舞子焼四方鉢(黒田家資料)

兵庫県内には約60箇所にのぼるやきもの窯があり、江戸時代にはそれぞれで独特の製品を作り出していました。黒田家資料にも明石焼、舞子焼といった地元のやきものを含め、県内の窯で焼かれた製品が数多く残されています。

今回、こうした武家階級が用いていたやきものとともに、日本陶磁協会明石後援会の協力により、個人コレクションによる県内の諸窯の作品を展示し、生活に密接に結び付き、人々に愛されてきたやきもの魅力を紹介いたします。

また、県内で現在活躍している陶工の作品も併せて展示いたします。

【関連イベント】 ※いずれも観覧券が必要です。

講演会 9月29日(日) 14:00~15:30

- 1「ここまでわかった黒田家文書の世界(仮)」 講師:木村修二氏(神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター研究員)
 - 2「黒田家伝来の絵画について(仮)」 講師:橋本寛子氏(神戸大学大学院人文学研究科助手)
- 定員:80名(申込順) ※9月4日(水)10:00より電話受付

切り紙ワークショップ「家紋のデザインを楽しもう!」 10月12日(土) 14:00~(1時間程度)

- 家紋のデザインでオリジナルブックカバーを作ります。
定員:20名(申込順) ※9月18日(水)10:00より電話受付
対象:小学生以上(大人も可) 参加費:無料(要観覧券)



〈交通アクセス〉

- 電車 JR・山陽電車明石駅より北へ徒歩5分
- 車 第2神明大蔵谷出口より南西へ10分、第2神明伊川谷出口(東行きのみ)より南へ10分

〈駐車場(有料)〉

- 1時間につき100円、1時間未満の端数は1時間とします。駐車台数は32台です。
※公共交通機関、または近隣の有料駐車場(地図参照)をご利用ください。
※マイクロバスなどのご来館は、事前にお問い合わせください。

明石市立文化博物館

〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号 TEL.078-918-5400
http://www.akashibunpaku.com